

6. おでかけ!しっぽの森を開催しています

しっぽの森では、今年度より、しっぽの森の譲渡前講習や譲渡会、犬のしつけ方教室や動物愛護啓発展示等を行う「おでかけ!しっぽの森」を開催しています。

今回は10月18日(日)に開催した国営讃岐まんのう公園での様子をお伝えします。

当日は、まんのう公園の無料開放日ということもあり、多くの方にご参加いただきました。

譲渡会では、しっぽの森から出張した犬や猫とのマッチング。いつもと違う環境で少し緊張していたかもしれません。

犬のしつけ方教室では、高知県から斉藤喜美子先生に講師としてお招きし、保護犬の上手な付き合い方を教えていただきました。

また、啓発展示では、しっぽの森の卒業犬猫の写真展や、犬や猫の新しいご家族からのお手紙も展示。多くの方に保護犬、保護猫との暮らしについて考えていただけたのではないのでしょうか。アイゴンの缶バッジ作成も好評でした。皆さん大事に使っていただいているのでしょうか?

しっぽの森では、動物愛護啓発や、犬や猫の譲渡推進のため、様々なイベントを行っています。

各イベントの詳細は、しっぽの森のホームページでご紹介しています。是非ご覧ください。



しっぽの森インスタグラムのご紹介



しっぽの森では、Instagramで譲渡動物やイベントなどの情報を発信しています。しっぽの森でトレーニングを頑張る犬や、ふれあいルームでつろぐ猫、イベント開催の様子など、様々な写真と共に、しっぽの森の様子をお伝えしています。

@sanuki_shipponomori



是非一度、Instagram「しっぽの森_さぬき動物愛護センター」をご覧ください。



1. 動物愛護フェスティバルを開催しました!
2. 災害時動物対策について
3. 子犬を飼い始めたら...
4. 譲渡ボランティア活動報告
5. 新しい家族を迎えて
～しっぽの森から譲渡した犬や猫たち～
6. おでかけ!しっぽの森を開催しています

1. 動物愛護フェスティバルを開催しました!

しっぽの森では、9月20日(日)に「さぬき動物愛護センター 動物愛護フェスティバル」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、入場者の制限や、各イベントへの参加者を事前予約制にするなど、参加者にはご不便をおかけいたしました。当日は多くの方にご来場いただきました。オープニングセレモニーでは知事と高松市長から挨拶した後、(公社)香川県獣医師会篠原会長理事よりご挨拶いただき、高松市立東植田小学校の児童による動物愛護宣言が行われました。イベントでは、丸亀警察犬訓練所の亀山所長に『愛犬と良い関係をつくるには』と題してご講演いただき、その後訓練犬によるデモンストレーションやしっぽの森卒業犬へのしつけ指導、映画にもなった「きな子」の孫「りんご」による臭気選別や写真撮影会を行いました。また、(公社)香川県獣医師会の獣医師の先生方に、子ども獣医師体験、ペット健康相談、獣医師ミニレクチャーを行っていただき、動物愛護推進員の方には動物愛護子ども教室とふれあい体験、工作や飼い方相談などのブースや防災グッズなどの展示も行っていました。そのほか、動物愛護管理に関する啓発展示や、しっぽの森卒業犬猫の譲渡動物写真展などを行いました。このイベントをきっかけに多くの方に動物愛護に関心を持っていただき、またしっぽの森からの犬や猫の譲渡がより一層進むよう、今後とも取り組んでいきたいと考えています。



2. 災害時動物対策について

普段から心がけること

所有明示

所有明示しておくことで、離れ離れになった場合でもペットと再会できる可能性がぐんと高くなります。迷子札やマイクロチップなどで所有明示をしましょう。

ペットの健康管理

災害が発生すると、環境の変化によるストレスや害虫の発生など、病気をうつす、うつされるリスクが高くなります。普段から健康管理、感染症の予防をしておきましょう。

しつけ

スムーズな避難や、周りの人の迷惑にならないよう、普段からのしつけ、特にほかの人や動物と友好的に接することができるようにしておくことはトラブル防止やペット自身のストレスの軽減に有効です。

飼育場所の安全確保

ペットを屋内で飼っている場合、ケージを置く位置に注意し、転倒防止対策をとりましょう。屋外で飼っている場合にも、ケージの強度や設置場所を確認。いざというときのスムーズな避難にもつながります。

ペットのために必要なものを備えておき、「ペット用非常持出し袋」など、分かりやすくひとまとめにしておきましょう。

ペットが避難所で問題なく過ごせるように

●避難所には多くの人が集まります

なかには動物が苦手な人や、アレルギーを持っている人も。同行避難しても、周りの人への配慮を忘れてしまえば、ペットが迷惑な存在になってしまうかもしれません。普段から、きちんとしつけをしておきましょう。

●ペットの健康管理は、飼い主が責任を持って

避難所では、環境の変化によってペットもストレスを感じます。ペットのストレスをやわらげる一番の理解者は飼い主です。

やってみよう 家族防災会議

ペットの同行避難は、十分な準備をしておくことや飼い主さんがマナーを守って飼育管理できることが前提ですが、いざ災害が起こった時には、誰もパニックになりがちです。スムーズな避難のためには、普段から家族の中でペットとの同行避難について役割分担を考えるなど、具体的にシミュレーションをしておくといでしょう。



3. 子犬を飼い始めたら…

子犬を迎えたら

子犬は環境の変化にとまどい、とても不安を感じています。落ち着くまで、ゆっくり休ませてあげましょう。ストレスになるので、慣れないうちは触り過ぎないようにしましょう(子どもの触り過ぎに注意してください)。

トイレのしつけ

犬がそわそわして排泄のそぶりを見せたらトイレ(ペットシート)の上に連れて行き、上手に排泄ができれば褒めてあげます。間違った場所で排泄したことを叱ってしまうと、排泄をすることが悪いことだと認識してしまい、必要以上に我慢をしたり隠れてするようになってしまいます。

夜鳴き

お迎え後の2~3日は夜鳴きをすることがありますがそのうちに治まるケースが多いです。夜鳴きに対処するには「鳴いたからといって構い過ぎない」ということです。安心させるために近くに寄り、「鳴かなくなってから構ってあげる」ようにしましょう。

かかりつけの動物病院

お迎えまでに動物病院を調べておき、お迎え後1週間以内に、かかりつけ動物病院を決めて、健康診断をしましょう。健康状態や元気の有無をよく見て、不調があれば早めにかかりつけ病院に相談しましょう。

犬の登録・狂犬病予防注射

犬の所在地を管轄する市町に登録し、毎年1回狂犬病の予防注射を受けることになります。なお、かかりつけの動物病院で行うこともできる場合があるので、相談してみるのもよいでしょう。

散歩

子犬は様々な伝染病に対する免疫力が低いので、戸外に出ることにより感染する恐れがあります。外出はバルボやジステンパーなどの混合ワクチン接種プログラムを含めて、先生と相談してするようにしましょう。散歩に出る前に、まず首輪に慣れさせるようにしましょう。首輪をいやがるようなら、首輪をつけたときに遊んであげたり、餌をあげたりしてごほうびと組み合わせます。首輪に慣れたらリードを着けることにも慣らしましょう。日頃のスキンシップが大切です。



4. 譲渡ボランティア活動報告

このコーナーでは、譲渡ボランティアの活動を紹介します。今回はシュリのおうちさんにお話を聞きました。

こんにちは(*^^*)香川県で愛護活動をしている「シュリのおうち」と申します。シュリのおうち発足から早いもので地域猫活動も17年目に突入いたしました。

17年前は猫の処分数は4000匹を超えていました。保護する数にも限界があり死ぬために産まれる子達を無くすには産ませないことが殺処分を減らす一番の近道と言うことから地域猫活動を開始いたしました。生まれてしまった子達も譲渡を行いながら命を繋いでおります

シュリのおうちの活動

- 不幸な命を産ませない活動
- 殺処分、保健所収容を無くすための活動
- 1匹でも多くの子達の命を繋ぐ地域猫活動(TNRC活動)

TNRC活動とは?

捕獲(Trap)
不妊去勢手術(Neuter)
元の場所に戻す(Return)
お世話をする(Care)

- 人なれ修行をし素敵な家族さまに出逢えるようそれと同時にセンターに収容になった子達の引き出し譲渡
- 地域連携で人と動物との共存を目指す



全ての子達を救うのは無理でも1匹でも多くの子達の命が繋がるよう。この日本から悲しい殺処分が無くなるその日まで邁進してまいります。共に生きよう小さな子どもたち。

【公式ブログアメブロ】
<https://profile.ameba.jp/ameba/ichigo-hime2306>
【シュリのおうちメール】syurino.ouchi@gmail.com

譲渡ボランティアって?

しっぽの森から犬・猫を譲り受け、人なれや、健康管理を行って新しい家族探しを手伝ってくださっている人たち。「譲渡ボランティアをやりたい」、「自分の家庭環境や住宅で、譲渡ボランティア活動ができるだろうか?」など、気になることがある方は、是非一度しっぽの森までお問い合わせください。

5. 新しい家族を迎えて ~しっぽの森から譲渡した犬や猫たち~

しっぽの森卒業生の新しい暮らしを紹介します。今回は、レオくんとモカちゃんとの新たな生活を始められたKさん、りくくんと新たな生活を始められたOさんよりおたよりをいただきました



Kさんより



Oさんより



レオちゃんとモカちゃんは迎え入れ当初、緊張していました。しかし、日が経つにつれてよく食べ・よく遊び・よく寝るようになり、毎日大きく成長しています。そんな中、我が家に大事件が発生しました。なんと2匹がゴキブリをもの見事に退治してくれたのです!これには家族全員びっくりしました。クールなレオくんとおてんばなモカちゃんの成長をこれからも温かく見守ってまいります。

我が家にりくくがやってきて3か月ですが、もっと前から一緒に暮らしていたかのように馴染んでおり、家族みんなから可愛がられています。今、歯の生え変わり時期とまだ幼犬ということもあり、甘噛みが絶えませんが、活発だけ少しおっちょこちょいなりくの性格に癒されています。毎日朝夕散歩に連れて行くことは大変ではありますが、りくくとの大事な時間と思っております。初めて犬を飼い、まだまだ分からないことが多く不安にもなりますが、家族とかかりつけの獣医さん達に助けをもらいながら一緒に生きていこうと思います!りくくとお会いできたら、ありがとうございます。